



# 鹿児島県内経済情勢報告

令和6年4月

財務省九州財務局  
鹿児島財務事務所



(問い合わせ先)

九州財務局 鹿児島財務事務所 財務課

TEL 099-226-6155

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/kagoshima/>

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、回復しつつある」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	回復しつつある	回復しつつある	→

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、物価高による節約志向の高まりがみられるものの、経済活動の正常化を背景として、回復しつつある。生産活動は、受注が回復していないなど、弱含んでいるほか、雇用情勢は、底堅く推移している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	回復しつつある	回復しつつある	→
生産活動	弱含んでいる	弱含んでいる	→
雇用情勢	底堅く推移している	底堅く推移している	→

設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、物価高による節約志向の高まりがみられるものの、食料品を中心に堅調であることから、回復しつつある。家電大型専門店販売は、買い替えや新生活需要が一定程度みられるものの、季節家電が伸び悩むなど、弱い動きとなっている。ドラッグストア販売は、化粧品などを中心に好調である。コンビニエンスストア販売は、繁華街の店舗を中心に好調である。乗用車の新車販売は、一部メーカーの生産・出荷停止の影響により、弱含んでいる。宿泊者数及び主要観光施設入場者数は、修学旅行生をはじめ、国内団体客を中心に緩やかに回復している。

(主なヒアリング結果)

- 節約志向の高まりから買い回りなどの動きは続いているものの、催事やハレの日には積極的な消費行動もみられる。(百貨店・スーパー)
- 買い替えや新生活に向けた需要はみられるものの、暖冬の影響により、エアコンなどの季節商品が伸び悩んだ。(家電大型専門店)
- 来店客数が増加しており、引き続き化粧品や食料品が好調となっている。また、足下では、のど薬や点鼻薬など花粉関連商品の売上が伸びている。(ドラッグストア)
- 外出機会の増加に伴い、特に繁華街の店舗で売上が好調。値上げの影響で弁当は振るわないものの、低価格のパンやおにぎりの売上が伸長している。(コンビニエンスストア)
- 一部メーカーの生産・出荷停止の影響で、このところ登録台数が前年を下回っている。(自動車販売店)
- 全国旅行支援の反動減はみられるものの、修学旅行生をはじめ、国内団体客を中心に緩やかな回復傾向にある。インバウンドについても、徐々に増加している。(調査機関)
- 県外や海外からの来館者を中心に、引き続き回復している。3月は、幼稚園や保育園の遠足のほか、海外からの団体客が多くみられた。(県内観光施設)
- 奄美地区の観光客数は、航空機減便の影響で減少している。5月以降も運休・減便が続くため、更に厳しい状況となる見通し。(一般社団法人)
- 国内向けの旅行は、団体ツアーや修学旅行を中心に堅調となっている。海外向けの旅行は、円安などの影響で、引き続き低調となっている。(旅行代理店)

### ■ 生産活動 「弱含んでいる」

主な業種をみると、食料品工業は、横ばいの状況にある。窯業・土石製品工業は、公共工事関連製品を中心に好調が続いている。電子部品・デバイス工業は、受注が回復しておらず、弱い動きとなっている。

- 基腐病の影響が大きかった前年までと比較すると、焼酎の原材料となるサツマイモを確保できていることから、工場稼働率が上がっている。(食料品工業)
- 豚肉・牛肉が需要期から外れた影響などにより、工場稼働率が下がっている。(食料品工業)
- 公共工事の増加に伴い、生コンクリート及びコンクリート二次製品の需要が増加したことで、工場はフル稼働が続いている。(窯業・土石製品工業)
- 情報通信市場の回復が遅れており、受注が回復していない。(電子部品・デバイス工業)
- 半導体関連市場の回復が遅れている影響で、国内向け・海外向けともに受注が減少している。(その他の製造業)

### ■ 雇用情勢 「底堅く推移している」

有効求人倍率が底堅く推移しているなか、一部で求人動きに弱さがみられる。

- 求人が求職を上回っている一方、原材料価格の高騰などを背景に、一部の業種で採用活動に慎重な事業主も見受けられる。(公的機関)
- 人手不足のため、休業日の増加や営業時間の短縮を余儀なくされている。(飲食サービス業)

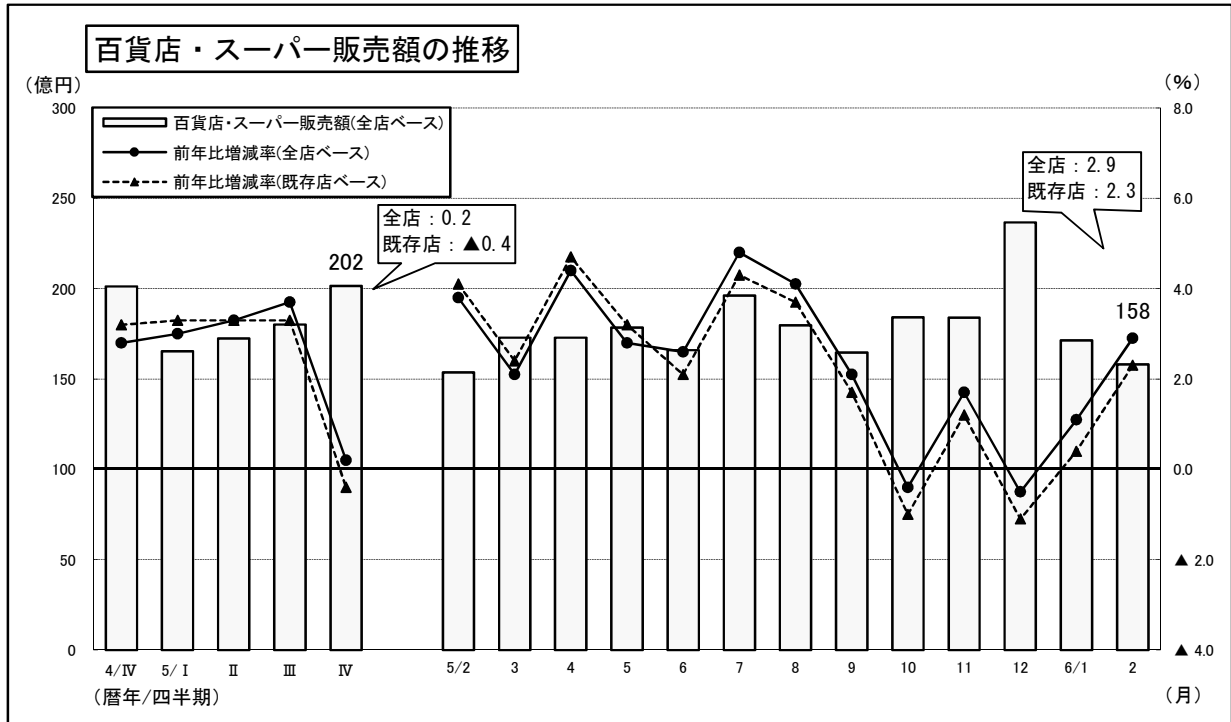
- 設備投資 「5年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
  - 製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。
- 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
  - 製造業、非製造業ともに減益見込みとなっている。
- 住宅建設 「前年を上回っている」
  - 新設住宅着工戸数(5年12月-6年2月)は、前年を上回っている。
- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
  - 6年1-3月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。先行きをみると、6年4-6月期は「上昇」超の見通しとなっている。
- 公共事業
  - 公共工事前払金保証統計の請負金額(5年度末累計)は、前年度を上回っている。
- 倒産
  - 企業倒産(6年1-3月期)は、件数は前年を下回っているものの、負債総額は前年を上回っている。

## 【参 考 資 料】

1. 個人消費 .....	参-1
2. 生産活動 .....	参-4
3. 雇用情勢 .....	参-6
4. 設備投資 .....	参-7
5. 企業収益 .....	参-8
6. 住宅建設 .....	参-9
7. 企業の景況感 .....	参-10
8. 公共事業 .....	参-11
9. 倒産 .....	参-12

# 1. 個人消費

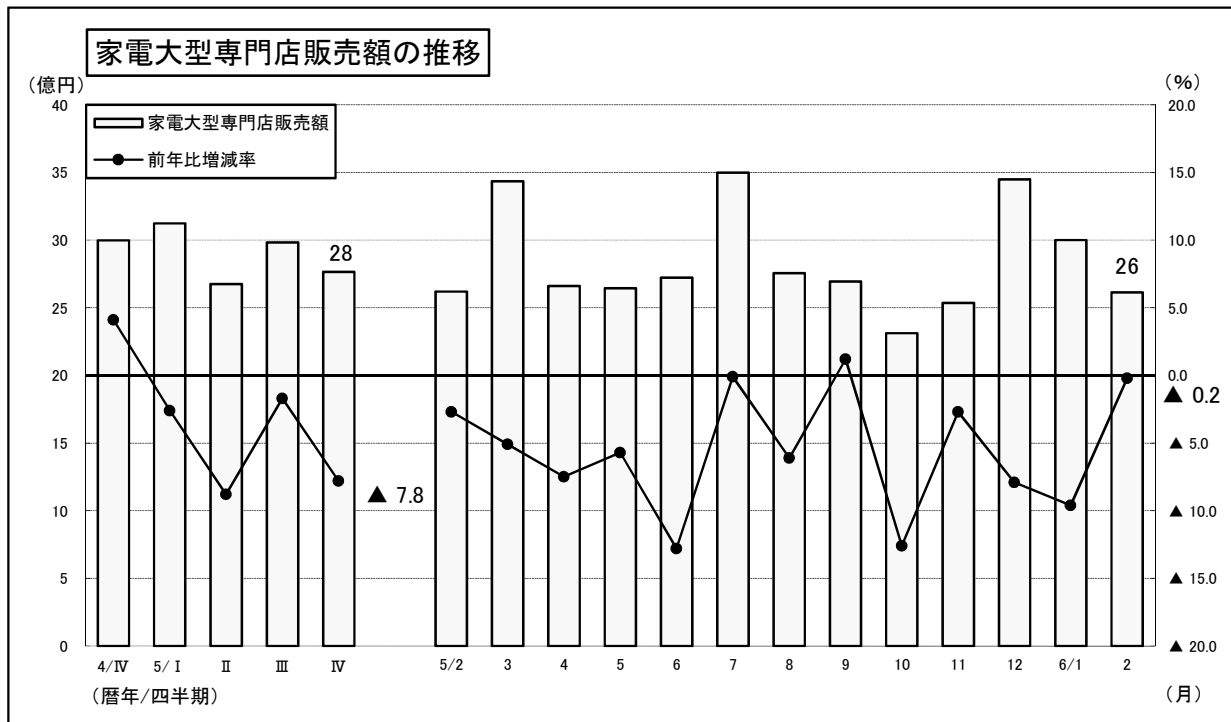
資料1



注: 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

(資料: 経済産業省)

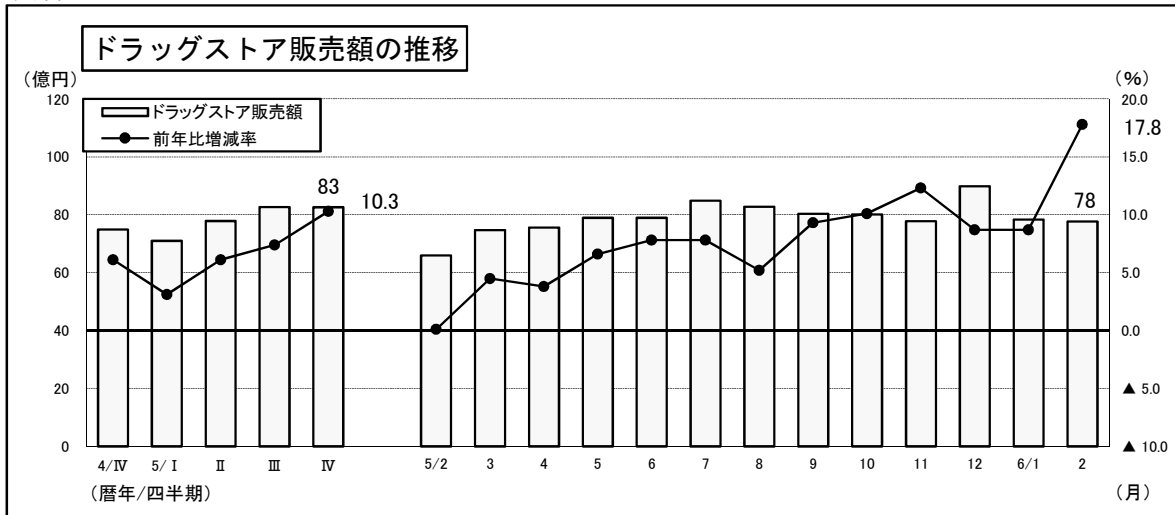
資料2



注: 四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

(資料: 経済産業省)

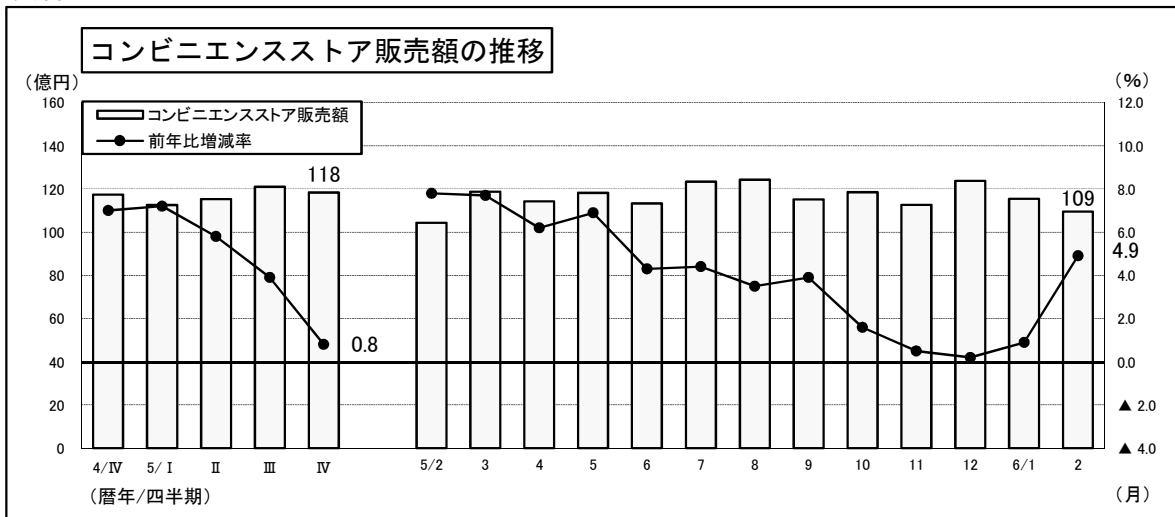
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

(資料：経済産業省)

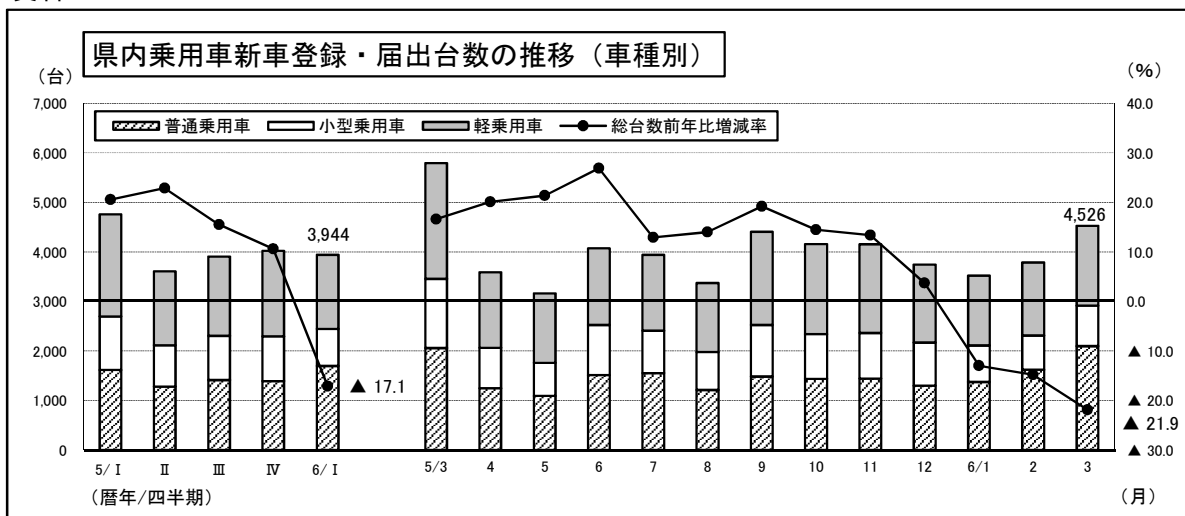
資料4



注：四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

(資料：経済産業省)

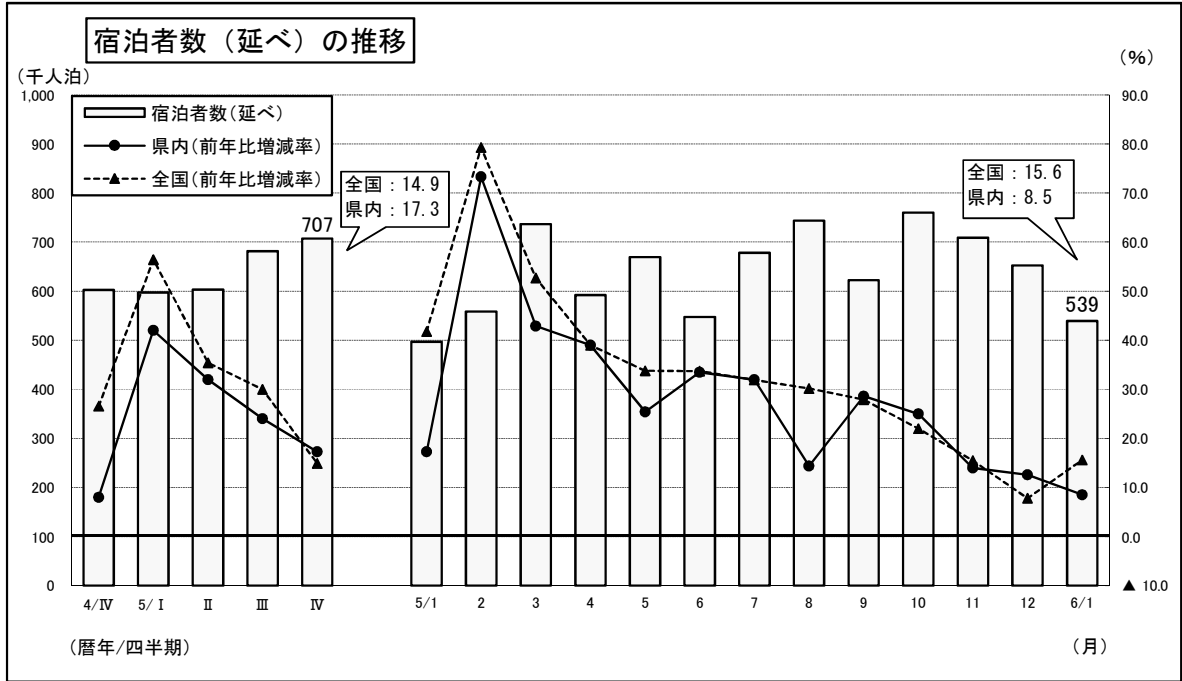
資料5



注：四半期の棒グラフは月平均。6年3月は速報値。

(資料：国土交通省、全国軽自動車協会連合会)

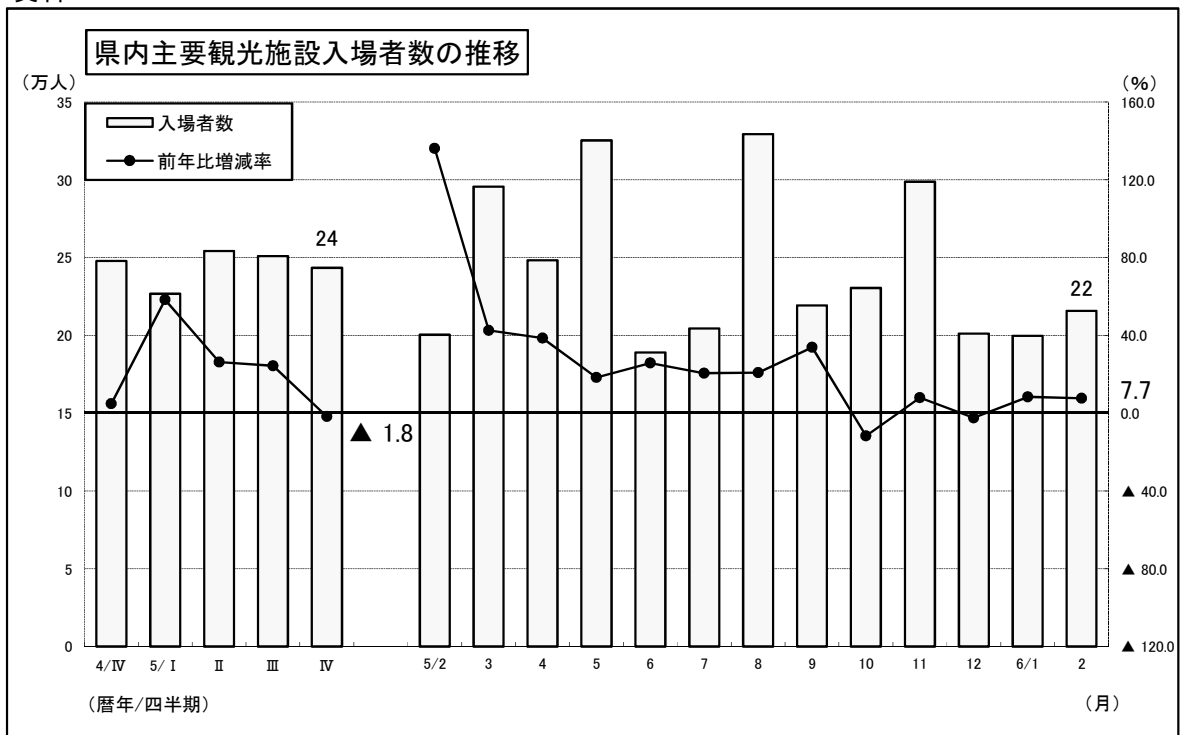
資料6



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：観光庁)

資料7



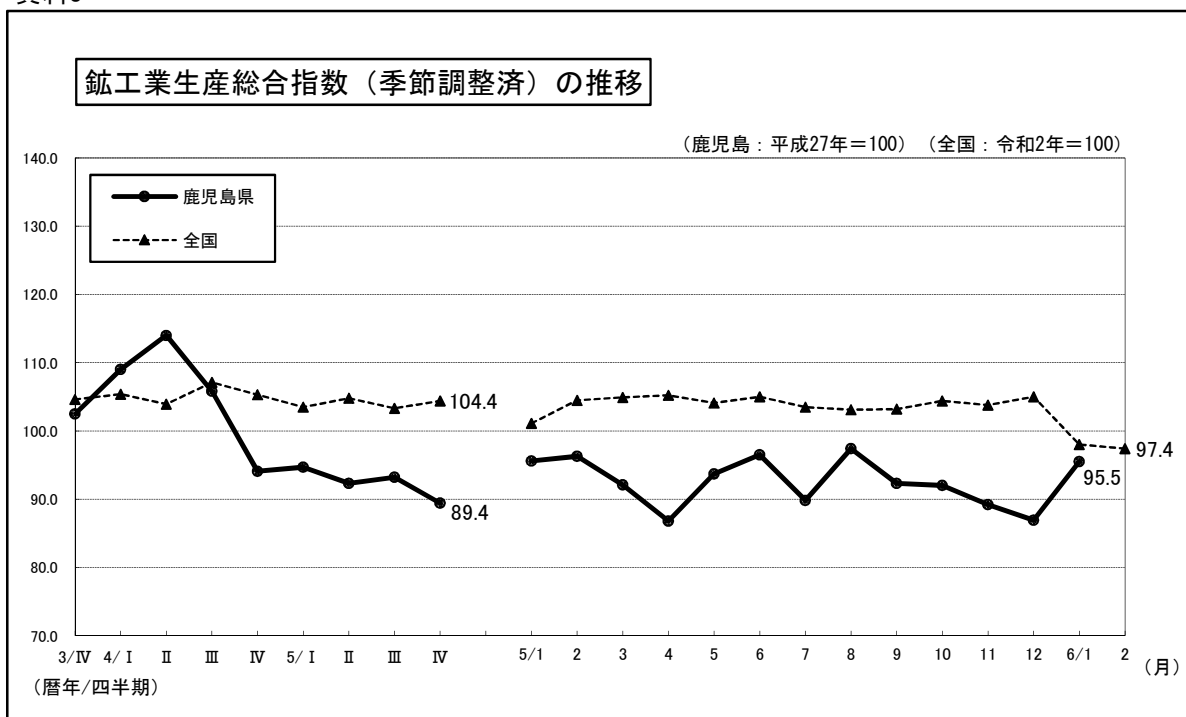
注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：県内主要16観光施設)



## 2. 生産活動

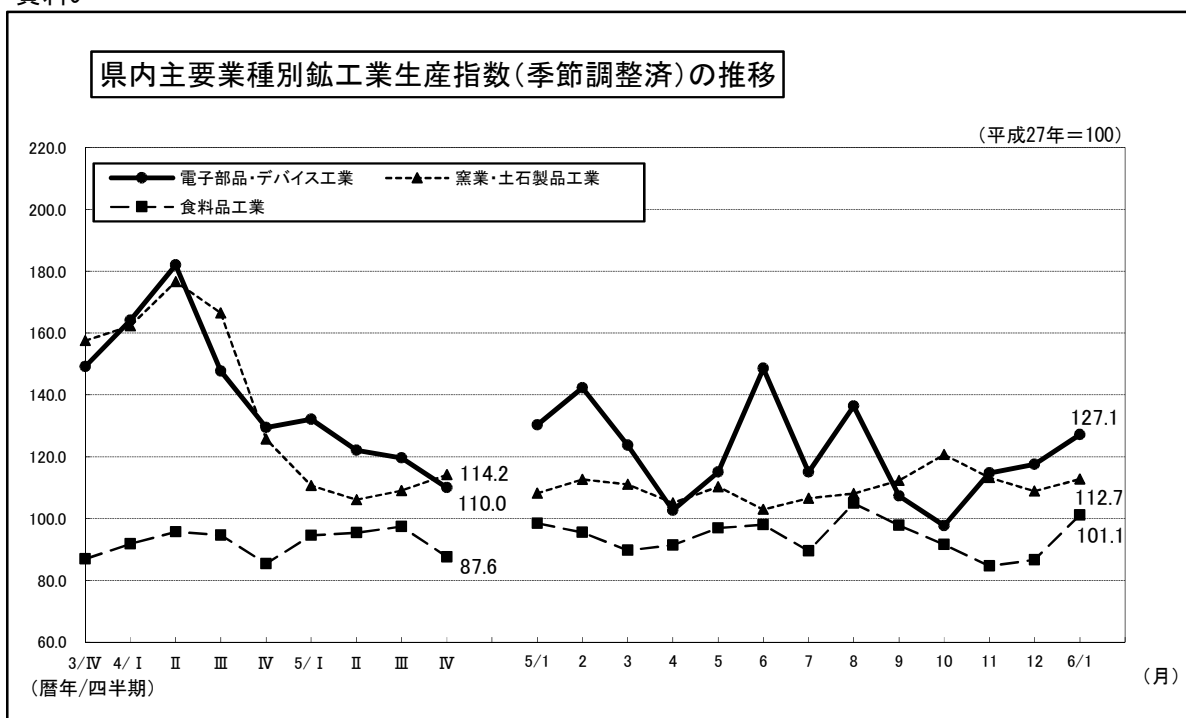
資料8



注：鹿児島県の6年1月は速報値。

（資料：経済産業省、鹿児島県）

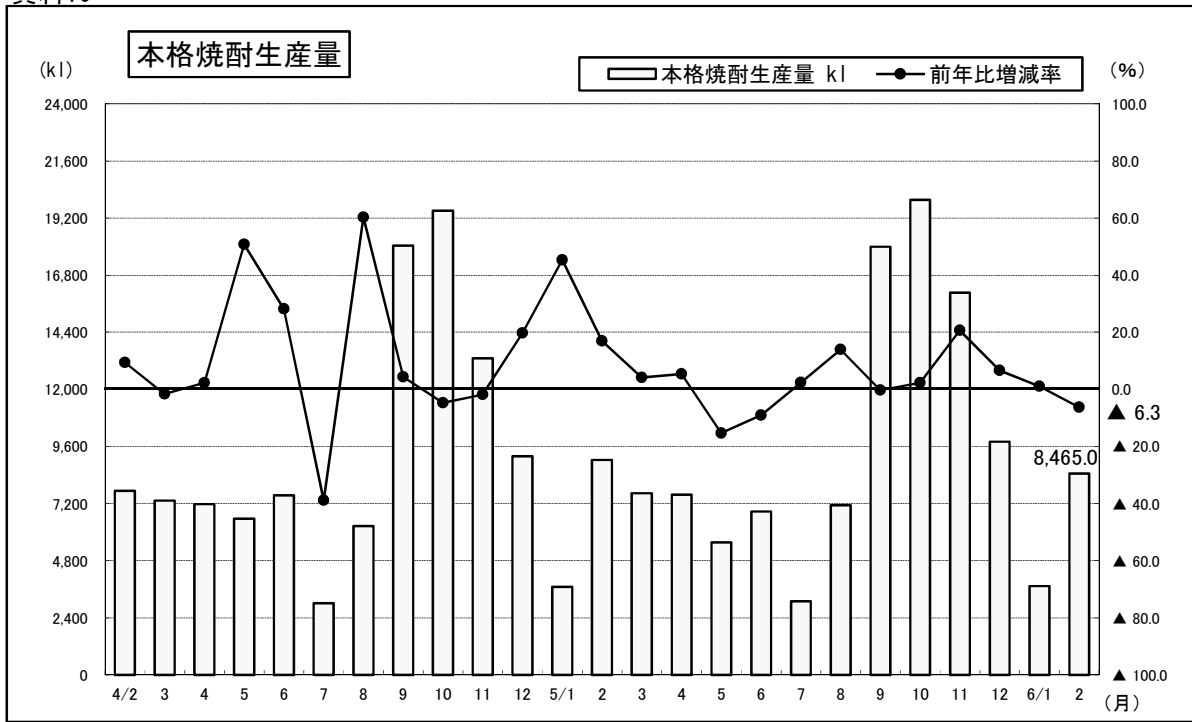
資料9



注：6年1月は速報値。

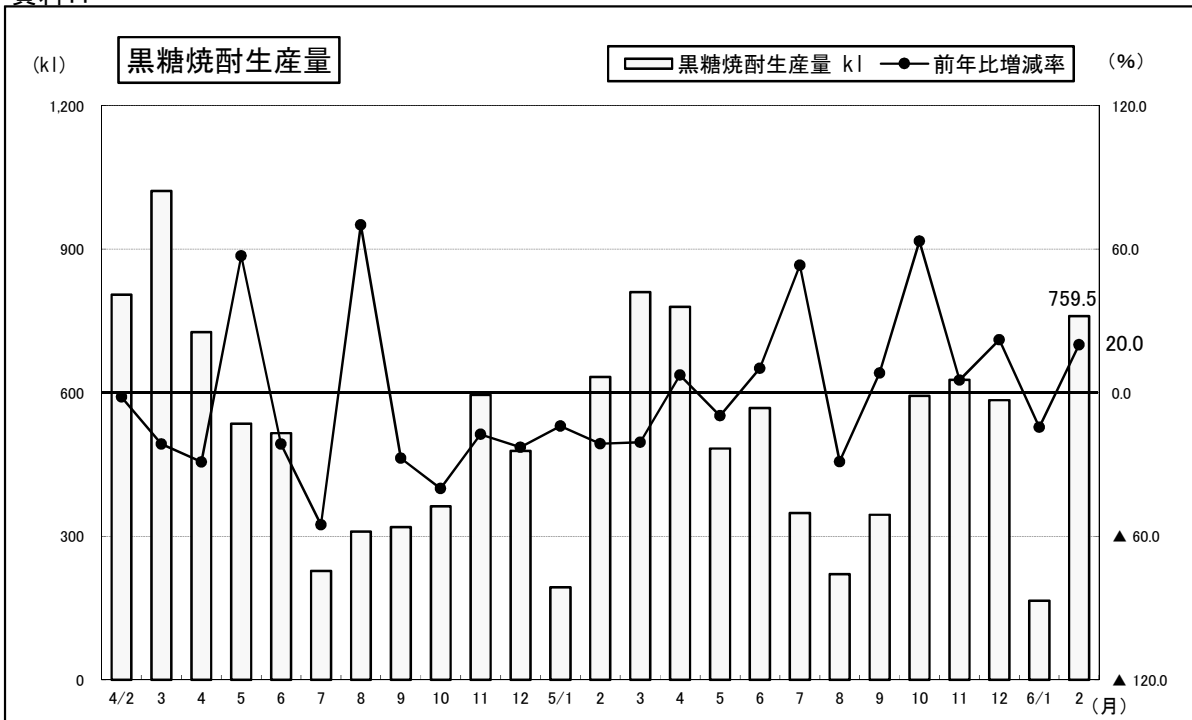
（資料：鹿児島県）

資料10



(資料：鹿児島県酒造組合)

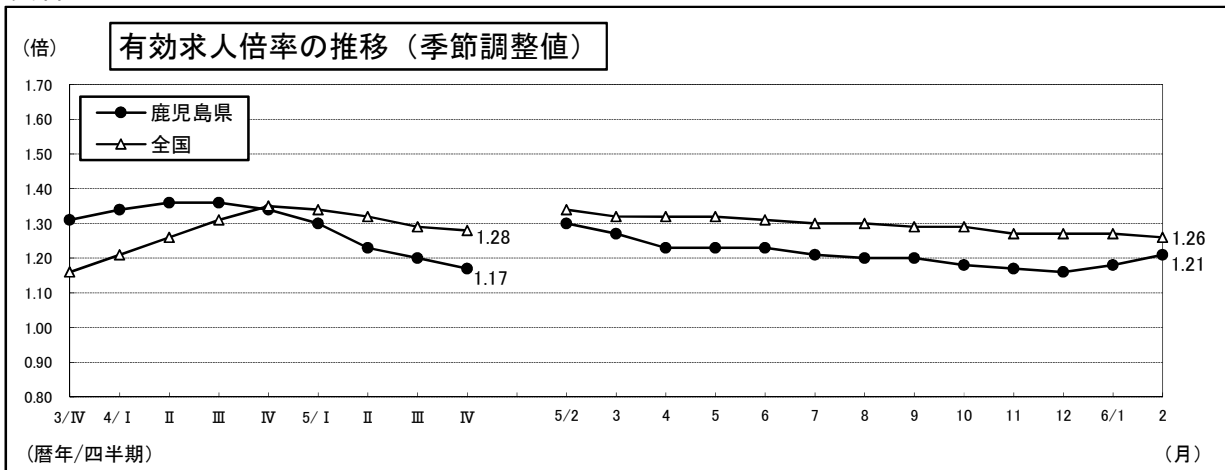
資料11



(資料：鹿児島県酒造組合)

### 3. 雇用情勢

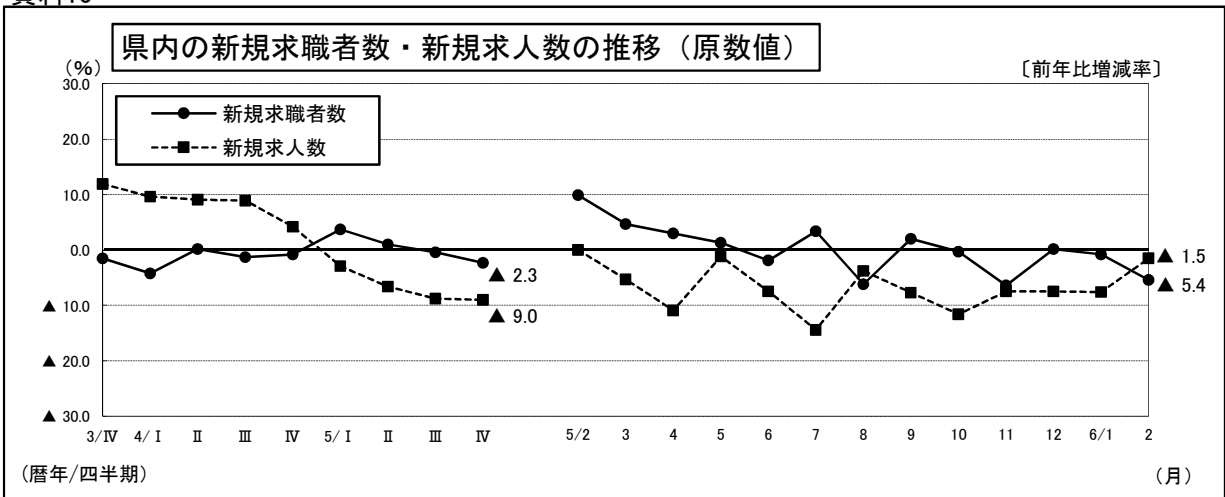
資料12



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

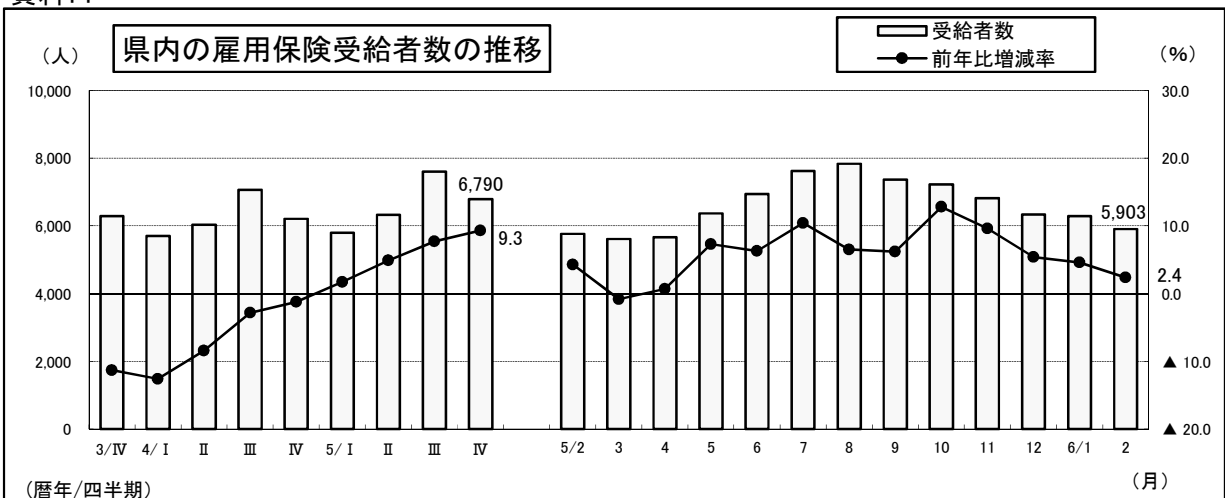
資料13



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

資料14

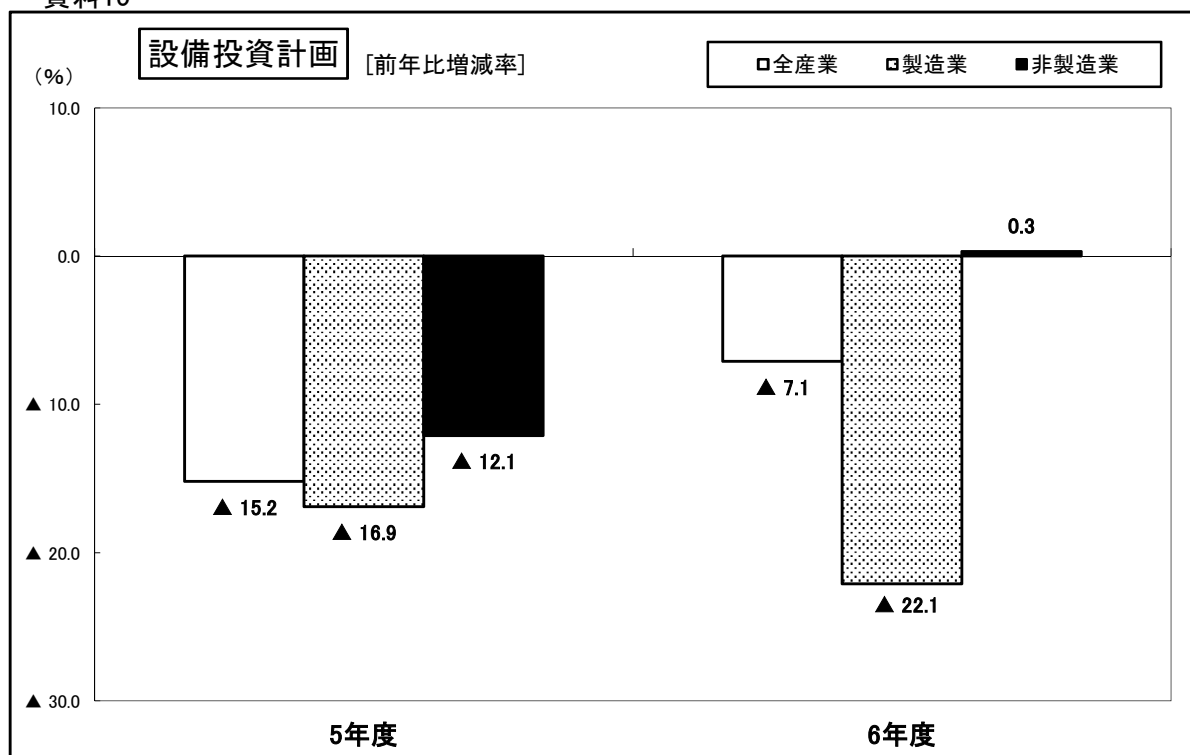


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

（資料：厚生労働省）

## 4. 設備投資

資料15



設備投資[前年比増減率]

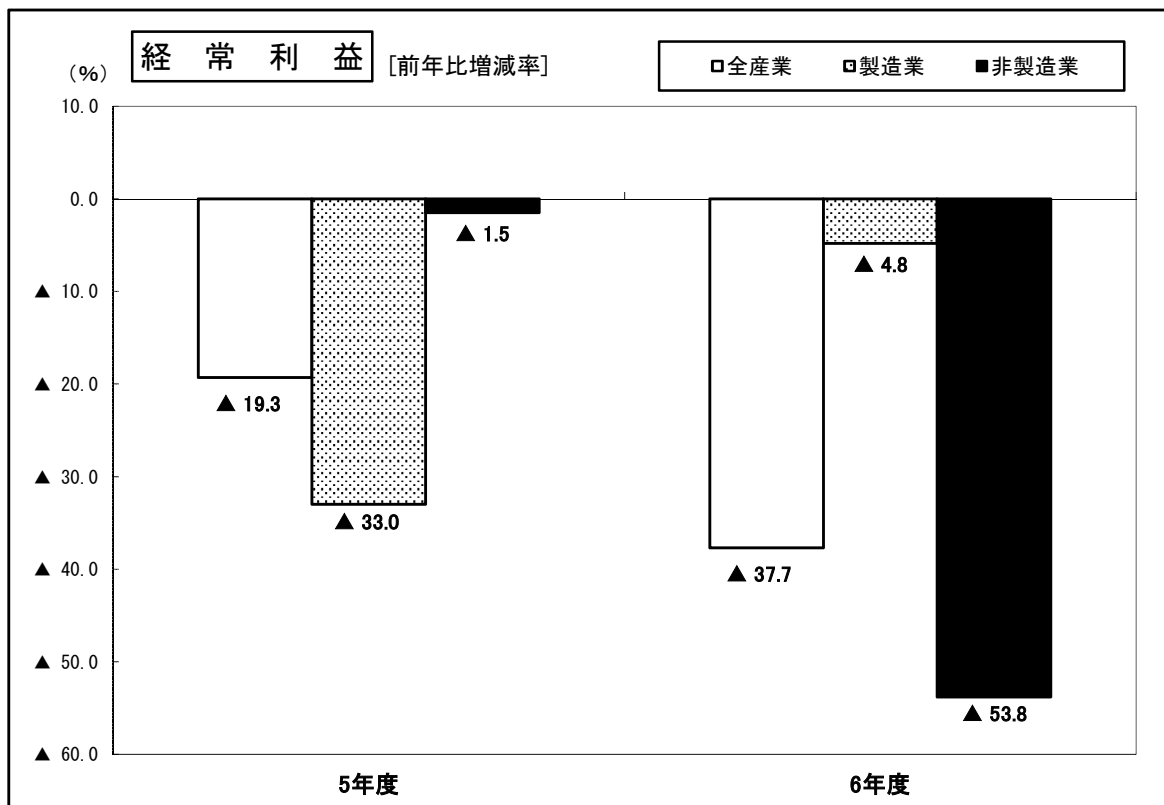
(単位：社、%)

	回答 企業数	5年度	回答 企業数	6年度
全産業	77	▲ 15.2	64	▲ 7.1
製造業	20	▲ 16.9	16	▲ 22.1
非製造業	57	▲ 12.1	48	0.3
大企業	19	▲ 10.9	15	3.5
中堅企業	24	▲ 43.6	19	▲ 31.5
中小企業	34	5.6	30	▲ 30.5

(資料：鹿児島財務事務所(法人企業景気予測調査))

## 5. 企業収益

資料16



經常利益[前年比増減率]

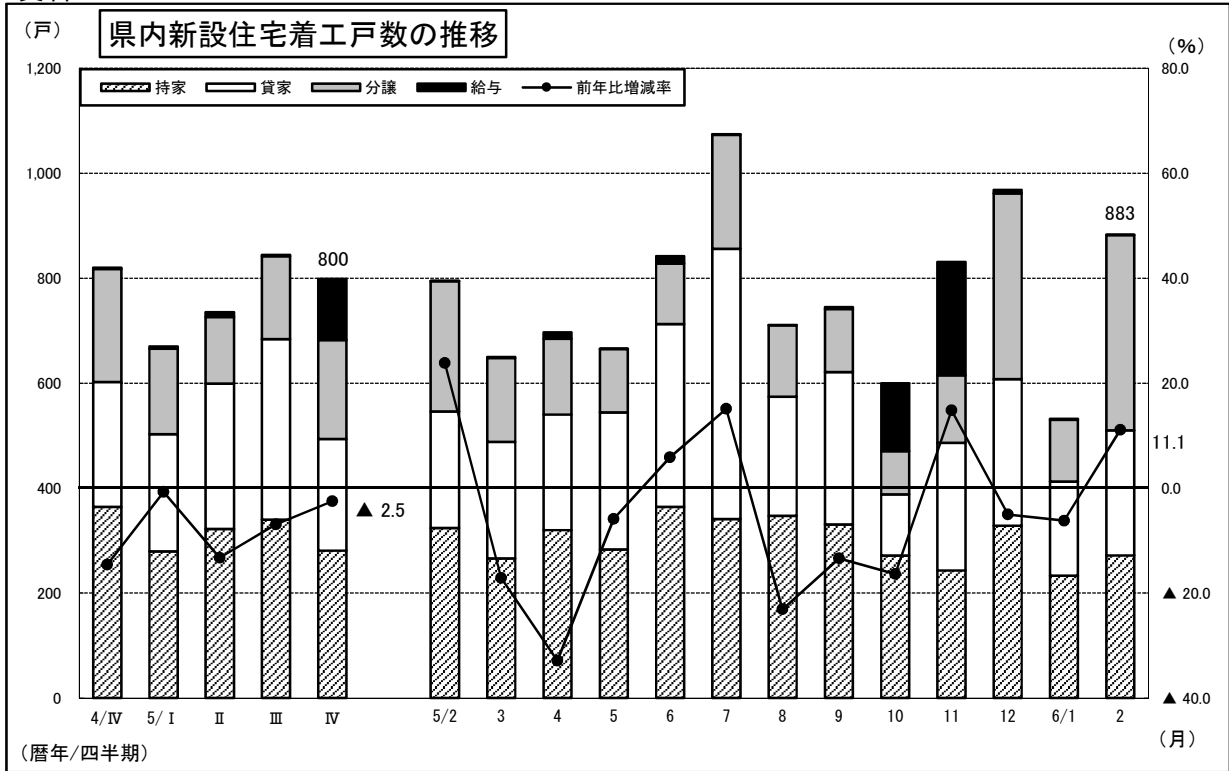
(単位：社、%)

	回答 企業数	5年度	回答 企業数	6年度
全産業	67	▲ 19.3	51	▲ 37.7
製造業	20	▲ 33.0	15	▲ 4.8
非製造業	47	▲ 1.5	36	▲ 53.8
大企業	12	▲ 20.4	9	▲ 58.2
中堅企業	22	▲ 19.7	13	29.3
中小企業	33	9.1	29	22.7

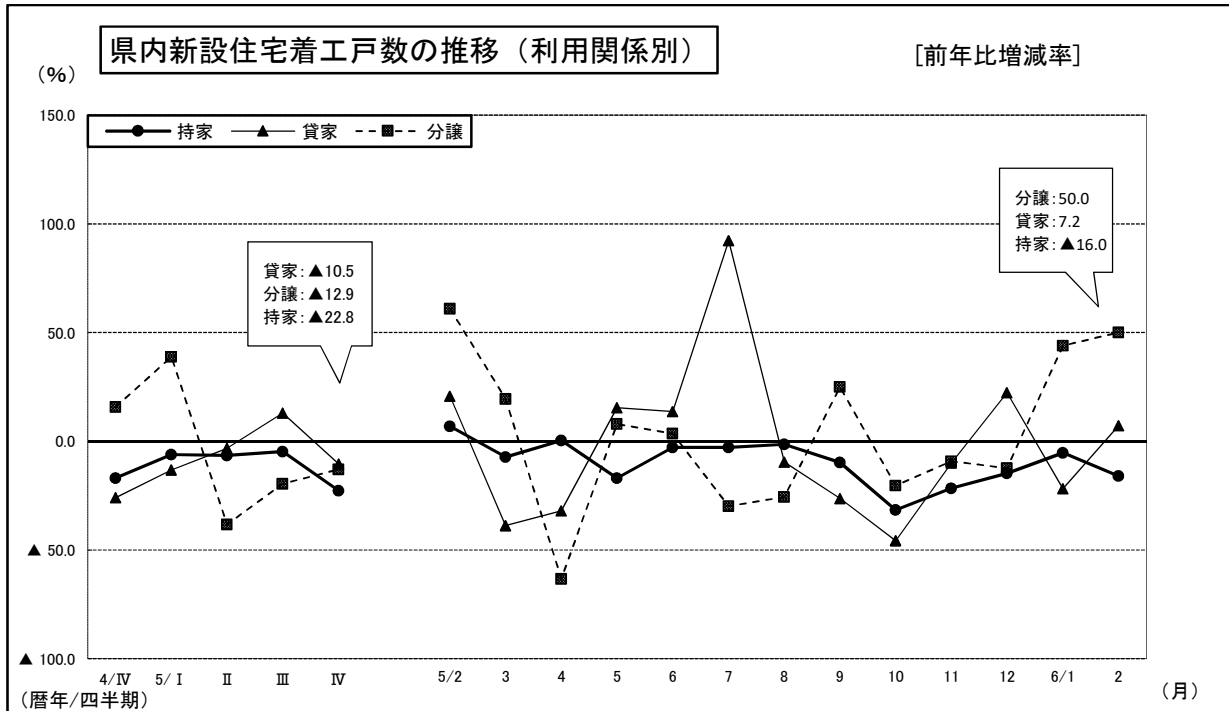
(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

## 6. 住宅建設

資料17

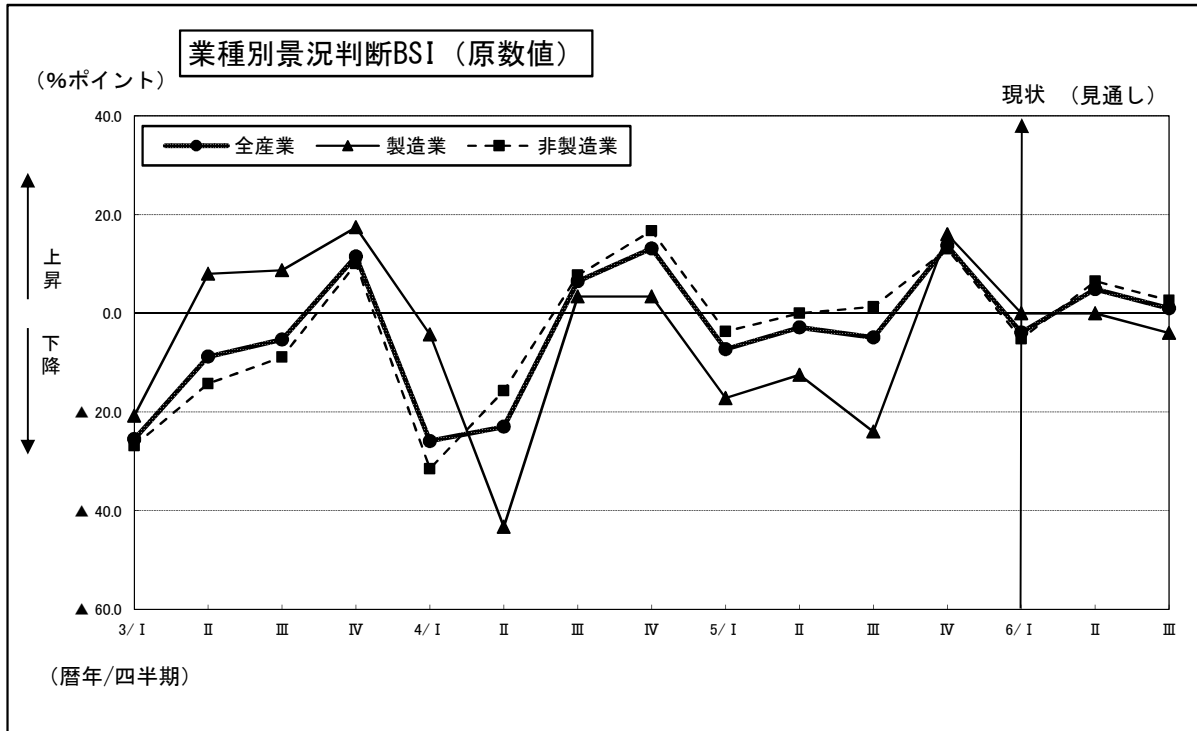


資料18



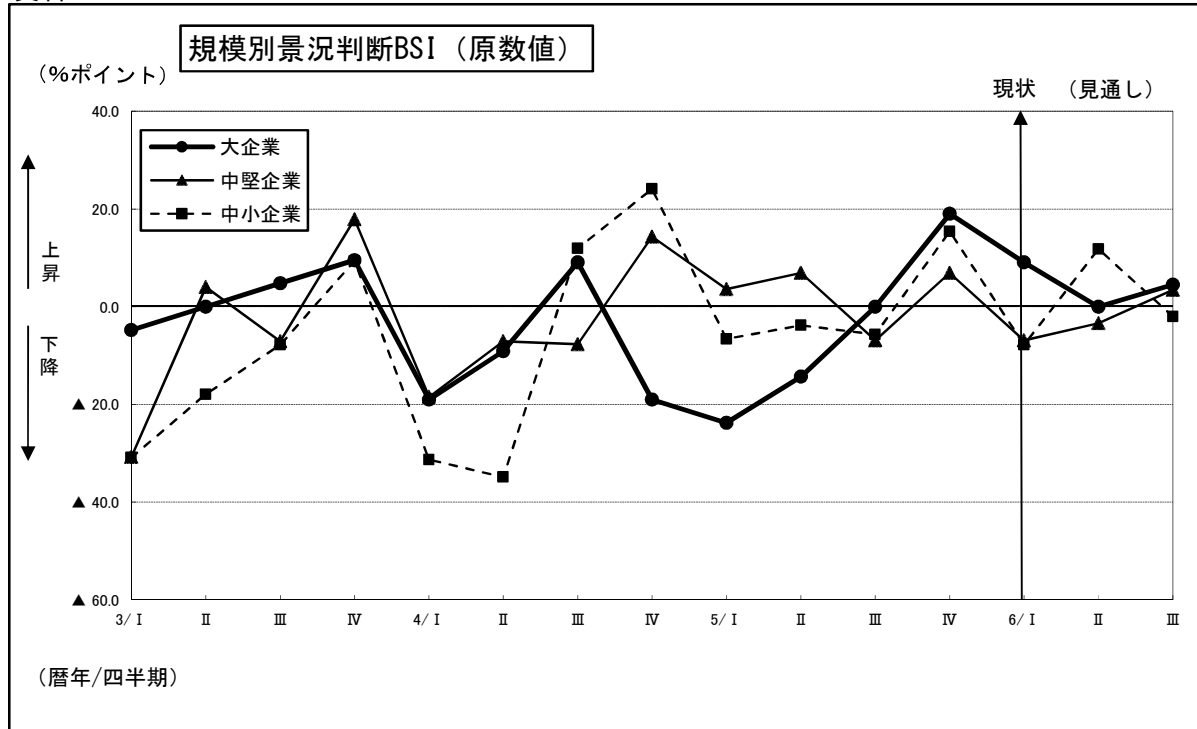
## 7. 企業の景況感

資料19



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

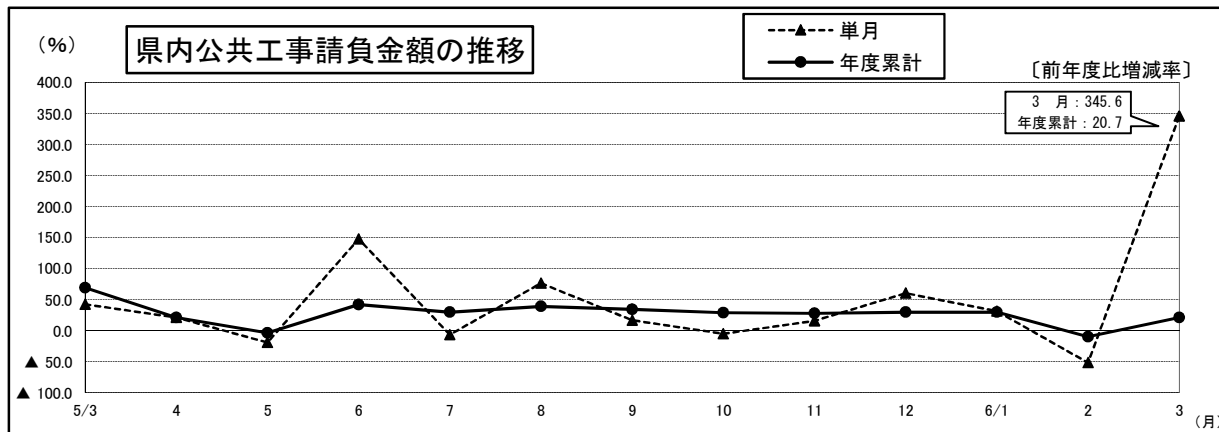
資料20



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

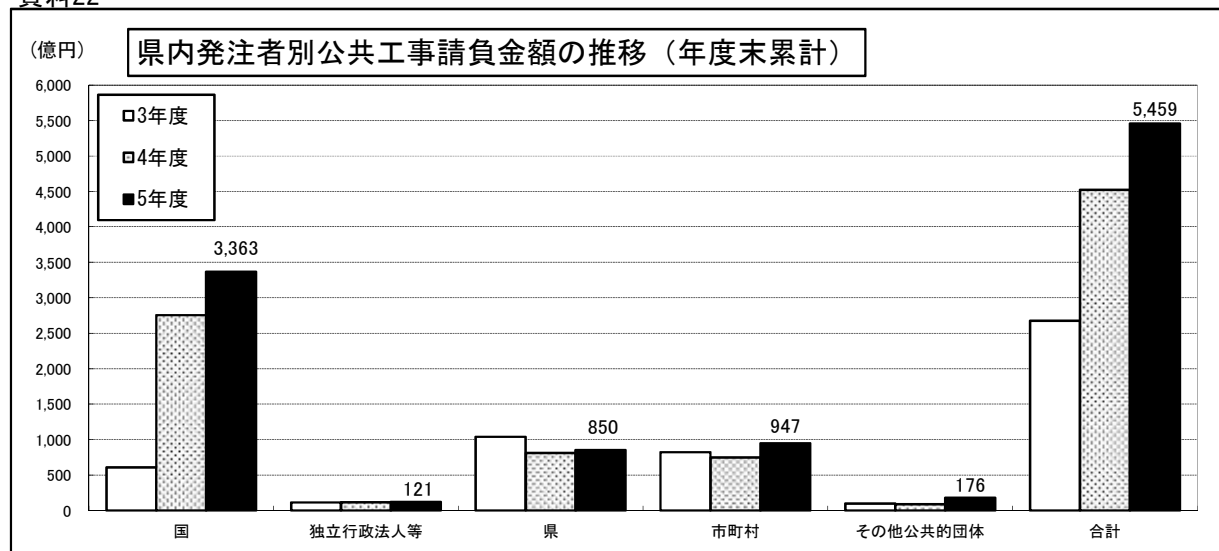
## 8. 公共事業

資料21



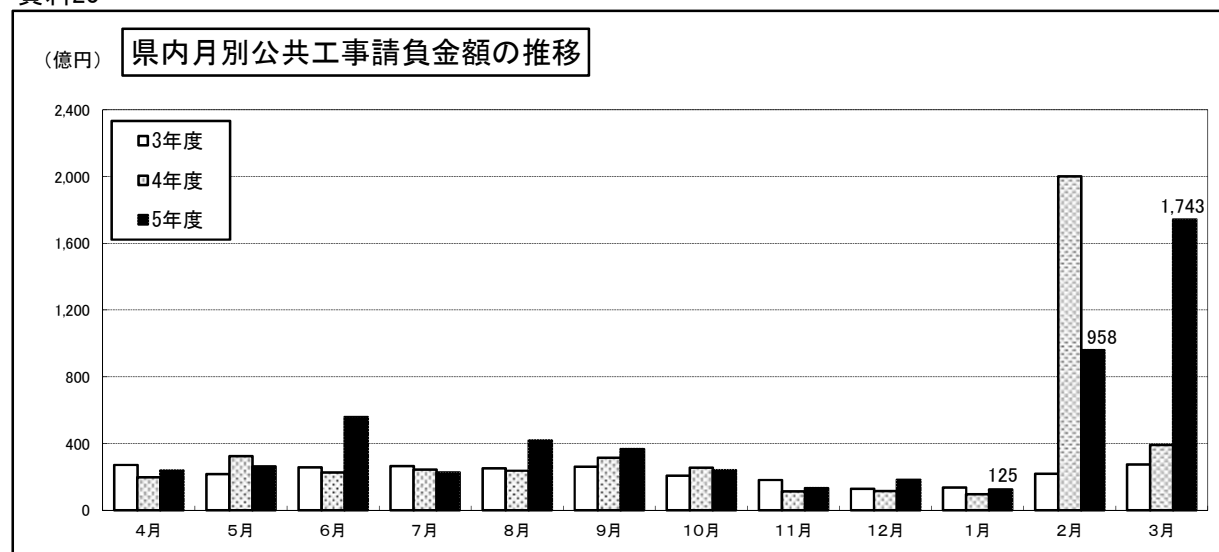
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料22



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料23

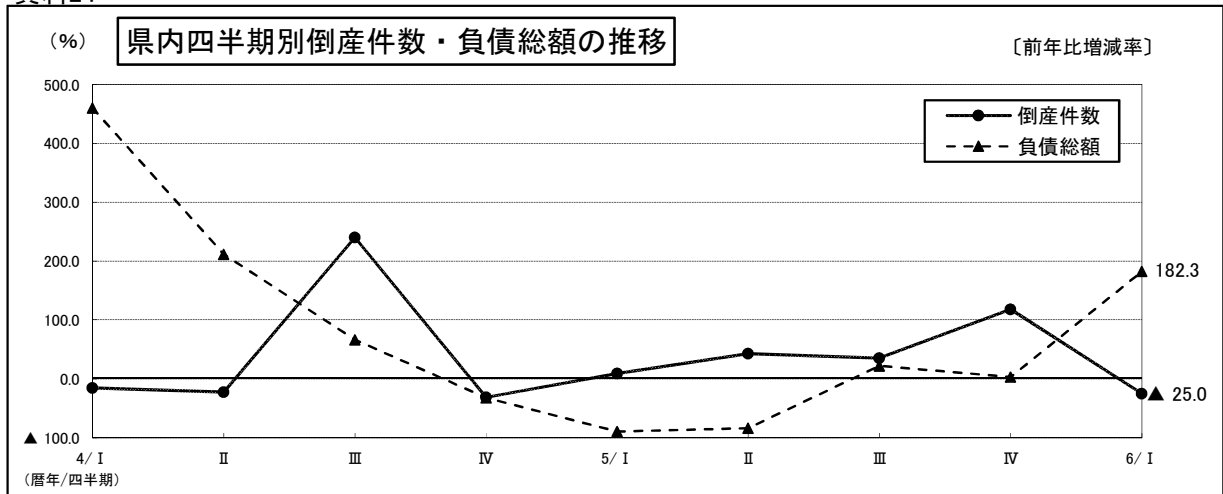


(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

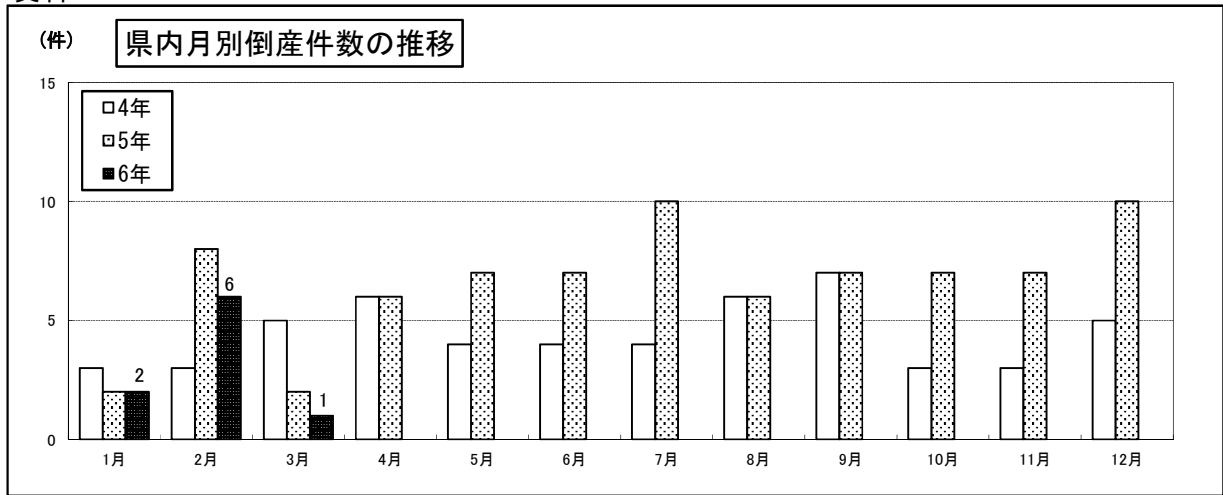


## 9. 倒産

資料24



資料25



資料26

